

# 訪介 必要書類見直し

## 記録内容、ツール再検討

一般社団法人水澤

「本人のための専用ヘルパーを育てる」をポリシーとし、他事業所と連携しながら計10名の契約利用者に対し、完全担当制でケアしている。

水澤弘之社長は「特にALSの利用者の場合は文字盤を使ったりコミュニケーションも多いため、呼吸器でサポートできるよう、職員が信頼関係を構築することが何

より重要」と語る。ケアの質の向上・職員の負担軽減のための生産性向上に視点を置き、2年程前から書類作成の見直しに着手。介護記録など計11種類の書類を再検討した。「本当に必要な記録は何か、書類の目的、作成ツールを改めて見直した」(水澤社長)

例えば、これまでヘルパーは記録ソフトを使用し、サービス提供責任者などと共有する

### 作成時間、短縮



▲時間が生まれたことで、地域交流活動にも着手。地元の祭りに出店した

介護記録のほか、他法人のヘルパーと情報共有するために利用者宅に置いてある連絡ノートにも手書きで記録が必要だった。そこ

で、自宅のノートに載した内容を写真撮影し、社内SNSを通じて共有。転記を省き、把握もスムーズになった。

ほか、モニタリング記録とケアマネジャーへの報告書の内容を一致させることで転記を減らす、アセスメント記録をExcelから記録ソフトへの記入に変更する、など工夫。さらに、アセスメント力を高めるべく、介護記録の内容も再検討。4つの観点「身体的側面・心理的側面・生活的側面・環境面」から生活課題を観察・評価し、記録するルー

ルとした。ケアマネや家族に提供する情報の質の向上、ケアへの還元につなげている。「書類を見直したことで月約110時間の削減が生まれたこと、事業所として地域の祭りに出店するなど、以前から取り組んでいた地域に向けた活動も行うことができている。改善を続け、新たな活動の幅も広げたい」(水澤社長)

# つなぐ支えるICT



ロボテ高橋健一社長

東京外国語大学卒業。米国留学後、ユニリーバなどで経験を積む。父親の病をきっかけに、高齢期における社会課題の解決を目指す。マネッセスタイルケアの企画経歴を経て2014年にアカリエを設立。21年に、同社の「HRモンスター」事業など分社化、robotte(ロボテ)を設立した。

「認知症世界の歩き方カレッジ」という学びの場を開催することにチャレンジしています。自治体で住民の方向けや、金融機関や大手スーパーなどで職員向けに、介護事業者の方々向けにもプログラムを行っています。また一般の方向けにオンデマンド、オンラインで学んでいただく場も用意しています。書籍でも用紙で自分で考えるのはハードルが高いので、いろんな手段で伝えていくことをやって

算 親しくしている、若年性アルツハイマーの丹野智文さんという方がいらっしやいますが、スマートフォンをすぐ使いこなしていません。スケジュール管理、移動、服薬管理など、スマホの機能をつまく使って生

高橋 書籍を通じ認知症当事者のことがすぐ理解でききました。書籍は一つのコンテンツ

「認知症世界の歩き方カレッジ」という学びの場を開催することにチャレンジしています。自治体で住民の方向けや、金融機関や大手スーパーなどで職員向けに、介護事業者の方々向けにもプログラムを行っています。また一般の方向けにオンデマンド、オンラインで学んでいただく場も用意しています。書籍でも用紙で自分で考えるのはハードルが高いので、いろんな手段で伝えていくことをやって

### 第3回 認知症との共生(後半)

NPO法人人イシュープラス  
デザイン 眞裕介代表



「認知症世界の歩き方カレッジ」という学びの場を開催することにチャレンジしています。自治体で住民の方向けや、金融機関や大手スーパーなどで職員向けに、介護事業者の方々向けにもプログラムを行っています。また一般の方向けにオンデマンド、オンラインで学んでいただく場も用意しています。書籍でも用紙で自分で考えるのはハードルが高いので、いろんな手段で伝えていくことをやって

### 介護Biz

## 正しい知識、学ぶ場提供

活しており、それを、周りの高齢者の方に積極的に教えています。1人1台スマホを持っていくという高度な社会インフラが、高齢者にも広がっていることを前提としたときに、ITで生活の困りごとを解決できるのはすごく大きいでしょう。

高橋 ITを使うことで、自分自身で認知症のリスクを意識したり、周りの方が意識できたりするのはないか、と思います。介護事業所の方も、そのようなデータがあればの方が認知症になりそうか、どのような介護サービスが必要となるのか判別でき、施設経営にもつながるのではないかと思います。

高橋 介護事業者の経営者の方に伝えたいことなど、ありますでしょうか。

高橋 介護事業者の経営者の方には、認知症について深く理解している方と、非常に偏見を持っている方の差が激しいと感じています。介護に関わる人々にとっての1つの教養として、認知症に関する正しい知識を持ってもらうことをなんとかできないか、と日々思っています。認知症世界の歩き方カレッジの活動をさらに広げていくことを考えていき

高橋 書籍に書かれているように、当事者目線で見えていない景色がまで見えるようになった介護士が、科学的にアプローチすべきことが見えてくる、より介護の質もあがってくるのでは、と思います。これから、社会がどのように変わっていく、このように変わってほしい、という思いはありますか。

高橋 「超高齢先進国」として、世界に誇る認知症に関するノウハウや、認知症の方が暮らしやすい社会作りやデザインなどを実践できる可能性は十分あると思います。その担い手として、介護の現場にいらっしゃる方々は、非常に大切な存在です。周りには志の高い方もいらっしゃると思います。そのような方とコラボレーションしながら、新しい、より良く生きる社会作りをチャレンジしていきたい、と思っています。

## ラーフェイドの抵抗力でリスク回避

一度の施工で、室内のウイルス・細菌・ニオイの原因物質への抵抗力を長期間付加する画期的な抗ウイルス・抗菌・消臭技術です。



ISO 21702  
抗ウイルス加工  
有機無機混合  
印刷 塗装面  
JIS S 5030:2017  
製品上の特定のウイルスの数を減少させます



ISO 22196  
抗菌加工  
有機無機混合  
印刷 塗装面  
JIS Z 2808:2019  
製品上の特定の細菌の数を減少させます

【LAFUADO】ラーフェイド

【LAFUADO】ラーフェイド

SIAAマークはISO21702およびISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。  
!注意事項  
・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません  
・SIAAの安全基準に適合しています  
・製品上の特定のウイルスの数を減少させます  
・ウイルスの働きを抑制するものではありません

株式会社ラーフェイド  
ラーフェイドの最新情報はこちら

手すり! ドア! トイレ! 食堂!

感染症予防対策・ニオイ対策にラーフェイド施工